

【新刊】『国際財務報告基準（IFRS）詳説 iGAAP2022 全5巻』 発刊！

デロイトトーマツのスペシャリストチームが執筆したIFRS適用ガイドの決定版！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）が、『国際財務報告基準（IFRS）詳説 iGAAP2022 第1巻～第5巻』を、2023年8月28日に発売しました。



『国際財務報告基準（IFRS）詳説 iGAAP2022』全5巻

商品紹介ページはこちら

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104717.html?utm_source=prtimes

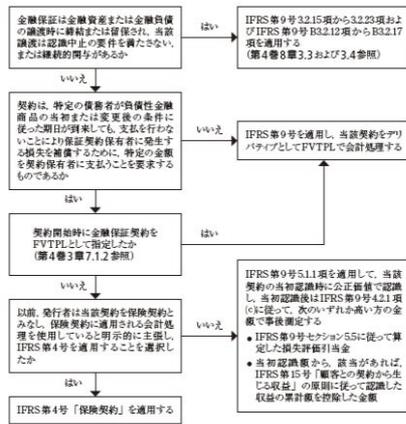
amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474078977>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17595794>

- デロイトトーマツのスペシャリストチームが執筆した本書を、有限責任監査法人トーマツが翻訳。
- 多くの具体的なガイダンスや設例を含み、IFRSの導入にあたって有用で実践的な内容。
- 「サステナビリティ報告」「保険契約」「リース」「金融商品」など最新の改訂状況もフォローし、重要基準を徹底解説。



2.3.3.1 金融保証契約一般例

2.3.3.1-1
金融保証契約 - 設例1)
 IFRS 第9号 B2.5 項(b)

企業Aは、20年後に満期となる企業Xの社債(CU1億)を保有している。企業Aは、格付機関によってBBBに格付されている。企業Aは、企業Xの格付が引下げられ、結果として、社債の価値が下落することを懸念している。社債の価値の下落を回避するため、企業Aは、格付がBB以下になることに関連して企業Xの社債の公正価値の下落がある場合には、企業B

が企業Aに下落分の支払を行うことになる契約を企業Bと締結する。当該契約は期間5年で、企業Aは契約締結に伴いCU2百万を支払う。この契約においては企業Xに発行した社債に係る支払債務の不履行があった場合ではなく格付が下がった場合に支払が行われることになるため、企業Aにとっても企業Bにとっても、当該契約はIFRS 第9号の適用範囲に含まれるデリバティブとなる。

2.3.3.1-2
金融保証契約 - 設例2)
 IFRS 第9号 2.1 項(e)

企業Xは、CU1億の単一家族向け住宅ローンを持している。企業Xは、景気後退により債務不履行が増加する可能性を懸念しており、その結果、住宅ローン保険会社である企業Bから保証契約を購入する。当該保証契約は、企業Xが住宅ローンの抵当権を行使するときに、企業Bに、住宅ローンの債務不履行の結果として被る損失相当額を企業Xに支払うことを要求する。この契約には、CU5百万の上限がある。企業Xは、当該契約の手数料としてCU2百万を企業Bに支払う。この契約は、特定の債務者が期日到来時に支払を行わない場合に発生する損失を企業Xに補償するために、特定の支払を行うことを定めており、金融保証契約の定義を満たす。

当該金融保証契約の発行者(企業B)にとって、この商品はIFRS 第9号の適用範囲に含まれる。契約開始時に、この契約が純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定されていない限り、当該契約は、公正価値で当初認識され、その後は、IFRS 第9号セクション5.5に従って算定された損失評価引当金の金額と、当初認識額から、該当があれば、IFRS 第15号の原則に従って認識した収益の累計額を控除した金額のうち、いずれか高い方の金額で測定される。しかし、企業Bが以前に、このような契約を保険契約とみなし、保険契約に適用される会計処理を使用していたことを明白に主張している場合には、企業Bはこの契約にIFRS 第9号またはIFRS 第17号(またはIFRS 第17号を採用していない企業はIFRS 第4号)のいずれかを適用することを選択できる。この選択は、企業Xとの当該契約に関しては取消

【目次】

第1巻

第1章 国際財務報告基準に関して/第2章 財務報告に関する概念フレームワーク/第3章 財務諸表の表示/第4章 会計方針、会計上の見積りの変更および誤謬/第5章 棚卸資産/第6章 引当金、偶発負債および偶発資産/第7章 法人所得税/第8章 顧客との契約から生じる収益/第9章 キャッシュ・フロー計算書/第10章 期中財務報告/第11章 サービス委譲契約

第2巻

第1章 有形固定資産/第2章 投資不動産/第3章 無形資産/第4章 資産の減損/第5章 従業員給付/第6章 株式に基づく報酬/第7章 リース/
 第8章 借入コスト/第9章 売却目的で保有する非流動資産および非継続事業/第10章 公正価値測定/第11章 退職給付制度の会計および報告

第3巻

第1章 連結財務諸表/第2章 企業結合/第3章 関連会社および共同支配企業に対する投資/第4章 共同支配の取決め/第5章 他の企業への関与の開示/第6章 個別財務諸表/第7章 事業セグメント/第8章 外国為替レート変動の影響/第9章 後発事象/第10章 関連当事者についての開示/第11章 1株当たり利益/第12章 政府補助金/第13章 超インフレ経済下における財務報告/第14章 農業/第15章 鉱物資源の探査および評価/第16章 規制繰延勘定/第17章 国際財務報告基準の初度適用/第18章 気候変動/第19章 より幅広い企業報告/第20章 経営者による説明/第21章 統合報告/第22章 気候関連財務情報開示タスクフォース

第4巻

第1章 金融商品：適用範囲/第2章 金融商品：金融資産/第3章 金融商品：金融負債と資本/第4章 金融商品：デリバティブ/第5章 金融商品：組込デリバティブ/第6章 金融商品：測定/第7章 金融商品：金融商品の公正価値測定/第8章 金融商品：認識および認識の中止/第9章 金融商品：国際財務報告基準

第5巻

第1章 保険契約/第2章 保険契約：IFRS第17号の範囲/第3章 保険契約：集約のレベル/第4章 保険契約：認識/第5章 保険契約：当初認識時の測定/第6章 保険契約：事後測定/第7章 保険契約：不利な契約/第8章 保険契約：保険料配分アプローチ/第9章 保険契約：保有している再保険契約/第10章 保険契約：裁量権付有配当投資契約/第11章 保険契約：保険契約の条件変更/第12章 保険契約：認識の中止/第13章 保険契約：基本財務諸表/第14章 保険契約：開示/第15章 保険契約：発効日および経過措置/第16章 保険契約：IFRS第4号/第17章 金融商品：ヘッジ会計/第18章 金融商品：ヘッジ会計—設例/第19章 金融商品：開示

【商品概要】

『国際財務報告基準（IFRS）詳説 iGAAP2022 第1巻～第5巻』

翻訳：有限責任監査法人トーマツ

定価：各巻 17,600円(本体：16,000円+税10%)

ページ数：第1巻 1,428頁 / 第2巻 1,536頁 / 第3巻 1,552頁 / 第4巻 1,280頁 / 第5巻 1,372頁

版型：A5判

商品紹介ページはこちら

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104717.html?utm_source=prtimes

amazonでの購入はこちら

<https://www.amazon.co.jp/dp/4474078977>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17595794>

発売元：第一法規株式会社

<https://www.daiichihoki.co.jp>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000589.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

第一法規株式会社

販売促進第一部

zei-support@daiichihoki.com